

令和8年度(2026年度) 埼玉県立小児医療センターにおける看護職員の負担軽減計画

R8年度(2026年度)度4月現在の看護師等の状況	これまでの取り組み及び今後の目標
1. 看護師 常勤 609 名 2. 看護補助者 常勤0名 非常勤66名 3. 常勤看護師の平均実労働時間 平均8.23 時間 (最大11.4時間、 最小 7.75 時間) 4. 夜勤回数 平均 3.6 回／月 (2交代制) (最大 12 回、 最小 0 回) 5. 育児支援制度利用者 102 名	当センターでは、勤務する従事者全てにとつてのワークライフバランスの重視及び医療安全の観点から、看護師の負担軽減と処遇の改善を図るため、看護師と他の医療従事者や看護補助者との業務分担の推進を継続してきた。 また、育児世代の定着を図るために、院内保育の維持、育児短時間勤務の積極的な活用を継続している。 今後は、チーム医療を更に推進させるため、医師のみならず他(多)職種との業務分担を図り、小児患者に対する当センターの機能を十分に発揮し、地域の小児看護を充実させていく。

項 目	R7年度(2025年度)までの取り組み	現状	R8年度(2026年度)の目標	R8年度(2026年度)末 達成状況
業務量の調整	・看護記録時間の削減 AmiVoice(音声入力) HCbooks(看護の可視化、記録効率)の活用 ・委員会活動の効率化 (会議時間の変更、運営内容の検討)	・時間外記録時間は、昨年度より14分増加し、36.4分であった。(2月データ)記録時間の短縮は出来なかったが、時間外は昨年度より18分減少した。 ・AmiVoice(音声入力)全体の使用率は63.8%。 一般床・外来・入退院支援センターに限定すると82.6%と高い使用率であった。ただし、R5に導入後テンプレート作成し使用に対して試行錯誤を続けているものの、部署間で使用率に差があり、記録時間短縮の実感が十分に定着していない。 ・ユビーが導入され、看護部はまず看護要約からユビーを使用し入力することを今年度5月～開始している。 ・HCbooksの活用状況は、記録監査では91.3%が活用している結果となった。 ・委員会活動の効率化 委員会内の作業時間を効率化した。	・AmiVoice活用を推進し、一般病棟の使用率を前年度比10%向上させる ・ユビー使用率100%を達成し、看護記録業務の効率化を図る ・HCbooksを活用した記録の質向上と業務効率化を推進する ・看護記録時間の短縮に取り組み、時間外勤務の削減につなげる ・委員会活動の運営方法を見直し、会議および作業時間の効率化を図る	
看護職員と他職種との業務分担	・病棟薬剤師の業務内容の検討	平日4時間は病棟薬剤師が在中しており、持参薬確認や服薬指導を行っている。部署に応じて業務内容は異なっている。今後はタスクシフト内容の再検討も必要と思われる。	・病棟薬剤師との連携強化 ・看護補助者との協働推進	
看護補助者の配置	・夜間看護補助者の体制整備と活用(一般症) ・看護補助者の業務内容の検討(ラダー取得の支援と研修)	・夜間補助者へのタスクシフト内容を検討し、夜勤看護師の負担軽減を実施した。また、看護補助者の直接ケア実施に向けてマニュアルを整備した。	・夜間看護補助者への適切なタスクシフト体制の再構築	

多様な勤務形態の導入	・働き続けられるWGの活動推進（育児短時間勤務者との協働） ・業務改善の推進（タスクシフトの検討）	・すべての部署が各部署の特性を踏まえながら、全部署で早出・遅出勤務を導入することができた。各部署で短時間勤務者とフルタイム勤務者が双方に働きやすく医療安全も守れる工夫を行い今後も継続する。 ・夜間補助者へ移行できる業務を洗いだし、タスクシフトを行い共同できる体制を検討し、実施した。	・多様な勤務形態の推進 ・育児短時間勤務者との協働推進 ・看護管理者の時間外勤務削減	
妊娠、子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	・男性看護師の育児休暇取得の推進 ・育児休暇取得後の復帰計画支援（本人の意向を尊重した部署配置など）	・男性看護師が育児休暇取得を希望した場合は、育児休暇を取得することができている。 ・育休復帰時は、面談を行い家庭環境や育児支援状況を確認し復帰部署の決定がされている。	・男性看護師の育児休暇取得促進 ・育休復帰支援の充実 ・ライフステージに応じた働き方の推進	
「取り組み」の周知	看護部による取り組みに関して、看護部の管理者会議にて看護師長に数値を提示し、フィードバックを行う	・ノー残業取得率93% ・超過勤務時間1人当たりの時間外勤務時間（平均）は7時間5分であり、3時間6分減少した。 ・年間目標として掲げた年休休暇取得状況8日以上取得率は72.2%であった。	・看護管理者の時間外削減10%削減 ・看護管理者：月2回以上取得率80% ・スタッフ：月1回以上取得率90% ・年次休暇取得8日以上100%	